

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	点字図書館	所管課	健康福祉部福祉局障害政策課
指定管理者名	(社福)群馬県社会福祉事業団及び (公社)群馬県視覚障害者福祉協会の共同体	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☐ 一部導入 ☒ なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12(群馬県社会福祉総合センター3階)
指定管理業務内容	・点字図書・視覚障害者用録音物の製作・収集及び視覚障害者への貸出 ・点訳・音訳奉仕員の養成 ・点字図書・視覚障害者用録音物の普及・奨励及び相談

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	6 人	
短時間雇用の職員:	2 人	合計: 8 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	40,230,000	人件費	33,884,227
その他(受託料収入等)	834,187	委託料	31,000
その他(寄付金収入、雑収入)	2,842,528	光熱水費	0
		租税公課費	66,912
		その他(事業費、事務費)	6,091,426
		拠点区分間繰入金	2,487,000
収入合計	43,906,715	支出合計	42,560,565

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	8,195	8,565	8,322
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
点訳奉仕員養成講座	入門編・基礎編 5/14～9/10 (全16回) 応用編 (通信添削) 9/24～1/28	37人	点訳基礎理論と実践	・点字を読んだり打ったりできるようになり、楽しかった。 ・点訳に必要な知識を習得するためには、多くの時間を割く必要があるとわかった。 ・これほど難易度が高いと思っていたいなかった。点訳の大変さを学ぶ良い機会になった。 ・奉仕員のレベルに到達するには、引き続き修練が必要だと感じた。
音訳奉仕員養成講座	5/13～3/17 (全25回)	22人	音訳基礎理論と実践	・やってみなければわからないたくさんの気づきがあった。 ・大変難しいことがわかった。細部まで気を配り、几帳面に取り組まなければならない作業。 ・課題をこなせばこなす程に難しさが増していく感じがした。
テキストデイジー奉仕員養成講座	4/1～5/27 (全9回)	1人	テキストデイジー基礎理論と実践	・このような媒体があり、奉仕の活動で支えられていることを今まで知りませんでした。
まゆだまネットフェスタ	9/6	来場者 431人 体験者延2,178人	関連団体と連携し各団体の支援内容、視覚障害者を取り巻く環境を紹介	・鍼灸体験で身体全体の調子を整えていただいた。 ・アイマスクをして伴奏者さんと歩いた。足もとが不安だったが、いい体験ができた。 ・ITサポートなど、最新機器を体験できて良かった。 ・もっと体験型ブースを増やしてほしい。
利用者と奉仕員の集い感謝状贈呈式	9/6	9人	図書製作奉仕員への感謝状贈呈	・日々の活動が形になり励みになりました。 ・これからも頑張ろうと思えた。
体験会の実施	①4/7～2/20 (全6回) ②6/28 ③10/27 ④11/24 ⑤2/4 ⑥3/23	①23人 ②12人 ③11人 ④10人 ⑤7人 ⑥4人	①ICT講習会 ②和装de点字付きかるた体験会 ③センスプレーヤー体験会 ④点字かるた体験会 ⑤シネマデイジーの音声ガイドを聴きながら映画を楽しむ体験会 ⑥ZOOM講座	①色々なICTの知識を知ることができた。 ②和装までできてうれしかった。 ③普段使用していて分からなかった操作が学べて良かった。 ④白熱して楽しかった。 ⑤感想はいただけなかった。 ⑥ZOOMを使用できるようになった。

企画展示の実施	①10/24～11/26 ②10/24～11/26 ③11/28～12/24	測定不可	県内市町村公共図書館にて連携展示 ①桐生市立図書館 ②桐生市立新里図書館 ③太田市立中央図書館	・点字図書館の存在を初めて知った。 ・点字だけを貸す図書館だと思っていた。 ・視覚障害のある方と生活のなかで出会う機会が無く意識していなかった。改めて考えさせられた。
---------	--	------	--	---

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

R7.9.15～10.28

(実施方法・回収率等)

当館利用登録者のうち、メール送信可能者・1年以内に当館利用したことのある方から255人を無作為抽出し、75名から回答を得た(回答率29.4%)。メール送信の回答にはGoogleフォームを活用した。

(項目別回答集計)

- ・年齢区分:70歳以上55%、60歳代17%。
- ・視覚障害者等級:1級68%、2級20%
- ・点字図書館の本・資料の貸出について:借りたことがある88%
- ・点字図書館で借りたことのない理由:サピエ図書館を利用67%
- ・利用した資料媒体:デージー図書32%、点字図書20%、テープ図書6%
- ・資料選択手段:職員に探してもらう28%、図書館だより21%
- ・本・資料以外のサービス利用:相談22%
- ・図書館だよりの活用について:お知らせ24%、新着図書の情報21%であり、情報収集の手段として活用されている。
- ・点字図書館のサービス:98%が満足・ほぼ満足
- ・職員の対応:99%が良い・ほぼ良いであった。

(調査結果分析)

・年齢層では60歳以上が72%、障害区分では、1級と2級で8割以上を占めており、高齢化及び障害の重度の方の利用が顕著である。

・点字図書館で資料を借りたことある方は88%と多く、資料媒体ではデージー図書、点字図書が多い。一方カセットテープの利用はわずかであり、ニーズは減少している。

・資料選択の手段として点字図書館の職員に探してもらう、また、点字図書館からの発行している図書だよりを参考に選んでいる方が多く、点字図書館の情報を頼りにしていることがうかがえる。

・点字図書館のサービス及び職員の対応についてほとんどの方から、満足し良い対応であると回答していただいている。引き続き満足していただけるように心がける。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

特になし。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。	<評価できる事項> 体験会の実施方法を改善する、新たな企画展示に取り組む、関係団体と連携して周知を図るなど利用者増加に向けて努力している。 <改善すべき課題> ・個人情報保護については、十分注意を払い、今後も適切な対応をお願いしたい。 ・引き続き奉仕員の養成に注力されたい。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	C

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	点字図書館をより多くの方に知っていただけるように、今年度も市町村公共図書館との連携の強化を図った。点字図書館の根幹となるサービスの充実はもちろんのこと、ユーザーが求める情報についてもアンテナを高くし対応した。
評価委員会の年度評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。